

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【保護者用】

(別添様式1)

(保護者等の皆様へ)

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2		5	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15			7	どの先生がどの専門かわからない
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	16	1		5	少しわかりにくい時があるかなと思います
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1		3	
適切な 支援の 提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	22				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22				・個別支援計画書に、成長のための到達目標や支援計画を記入して頂いているので積極的に支援して頂きたいです
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	20	1		1	
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	1		1	・色々なことを経験させてもらっている。できることが増える。
	5 児童等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	6		4	11	・子ども同士の交流は不足しているように感じています。遊びだけでなく共同作業の場面設定をお願いしたいです。 ・必要ありません。 ・コロナで交流は難しいと思うが月一のフリマの日は交流機会になり良いと思う。(無回答)
保護者 への 説明等	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	1			
	3 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	5		7	・困っている事等がないから行われているのかわからない。
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22				・勉強面で苦手な課題を取り入れてもらって、楽しく先生と取り組んでいる。
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	5	3	3	半期に一度、又は年に一度でも直接指導員の方と面談する機会があれば子どもの発達状況について話し合えるので、できれば実施してほしい
保 6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	11	6	・必要ありません。 ・集まりがあるのか知らない。でも、コロナ禍なのであまり集まりに参加するのも難しいだろ	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見
保護者への説明等 (続き)	7	11	3		7	・苦情があったりするのかわからないのでわからない。私と子供は特に不満もないのでわからない。(無回答1)
	8	21			1	・連絡帳や送迎の時に話が出来るので問題ない。電話対応もちゃんとしてもらってる。
	9	22				
	10	19	1		2	
非常時等の対応	1	16	2	1	3	
	2	18	1		3	
満足度	1	22				・土曜日に様々なイベントがあり、とても喜んで通わせて頂いています。 ・本当は毎日行きたいと言ってます。
	2	22				・利用日数が多い中、嫌がらず通わせて頂いて、先生方のおかげです。 ・子供の話や様子で楽しく過ごせてるのがよくわかる。

【チェック項目の欄に関する注釈】

「本人にわかりやすく構造化された環境」とは

この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは

児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」とは

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」とは

保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。